



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/平成26年4月30日

問屋町内交通事故ゼロ六千日達成 死亡事故ゼロ推進運動決起大会開催



表彰状を授与される多田支部長(右)

平成26年4月1日をもって、問屋町内交通事故死亡事故ゼロ六千日を達成した。当組合及び青森交通安全協会問屋町支部(多田支部長)では、昭和61年より「問屋町内交通事故ゼロ推進運動」をスタートさせ、残念ながら途中3回ほど千五百日達成を目前に記録がストップ。4度目の挑戦となった今回は、平成9年10月28日にスタートし、鬼門の千五百日をクリアすると順調に記録を伸ばし、

ついに足掛け17年かけて死亡事故ゼロ六千日を達成した。4月2日(水)には、六千日達成を記念すると共に七千日達成を目指すべく、「問屋町内交通事故ゼロ推進運動」決起大会を開催した。問屋町会館1階会議室で開催された決起大会には、来賓として青森警察署交通第一課より齊藤指導取締係長、若松主任が臨席。また、当組合の柳谷副理事長が青森交通安全協会会長として出席し、「交

通量が多いにもかかわらず、市内にある32の支部の中で1位の桜川団地支部(一万三千五百日突破)に次いで2位という記録は大変素晴らしい」と祝辞を述べた。青森交通安全協会問屋町支部に対しては青森警察署と青森交通安全協会の連名で表彰状が贈られ、多田支部長が「交通ルールを遵守し、死亡事故ゼロ七千日達成を目指す」と宣誓した。決起大会では、青森警察署の若松主任による「交通事故死亡事故ゼロ七千日を目指して」と題した講演会も開催。若松主任は「交通事故を防ぐには危険を回避するための安全確認が重要。前を見る、



青森警察署による安全運転講演会

協同組合青森総合卸センター
第47回通常総会

【日時】
平成26年5月29日(木)
①総会 午後4時より
②懇親会 午後5時30分より

【場所】
総会・懇親会
ホテル青森 3階 「孔雀の間」

組合員の皆様は、ぜひご出席いただきますようお願い申し上げます。

青森交通安全協会問屋町支部では、平成25年度の間屋町無事故・無違反コンクールの表彰者を対象とした抽選会を、3月17日(月)に問屋町会館で開催した。抽選の結果、(株)吉田産業が最優秀ドライバー賞を獲得した。同コンクールは「問屋町内交通事故死亡事故ゼロ六千日」達成に向けて、安全運転意識の啓発を図ることを目的に実施。コンクールの表彰条件は、チーム全員が無事故・無違反であるのはもちろんの事、街頭指導への参加も条件となつて

(株)吉田産業が最優秀ドライバー賞獲得 無事故・無違反コンクール抽選会



無事故・無違反コンクール抽選会

相手の動きを見る、交通ルールを守る、この3つを徹底してほしい」と説明。最後に「車には4つのブレーキがある。フットブレーキ、サイドブレーキ、エンジンブレーキの3つに加え、一番重

新規組合員の加入など承認
第10回理事会

新規組合員の加入などを審議する第10回理事会が3月26日(水)、問屋町会館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

主な案件審議は次のとおり。
案件一、賃貸組合員の脱退について

案件二、組合員の脱退並びに組合員施設の賃貸及び新規組合員加入承認について

案件三、平成25年度保証基金の精算について
案件四、役員選挙の理事会推薦について

案件五、平成26年度第1回監査会及び理事会の日程等について

シリアについて学ぶ

青森問屋町経営同友会

青森問屋町経営同友会では第12回会員交流会を3月20日(木)にレストランフロアで開催し、会員ら20名が参加した。

今回の交流会では、境建材(株)の取締役である村木裕俊氏を講師に招き、「シリアに生きる人々」をテーマに講演会が行われた。

村木氏は平成19年〜21年まで青年海外協力隊員としてシリアに赴任し、りんごなどの果樹栽培技術を指導。その経験からシリアを第2の故郷と思うようになった。現在は、内戦が続き戦場化するシリアを憂い、写真展や講演会など



シリアの民族衣装で講演する村木氏

「シリアはどういう国なのか、今何が起きているのか、多くの人に關心を持ってほしい」と熱く語った。講演会後の懇親会では、新規加入した株SokkaのCEOの自己紹介のほか、参加者全員の近況報告を行うなど、親睦を深めた。

問屋町支店長・所長連絡会の第3回親睦交流会が、3月14日(金)、ホテル青森で開催され、会員と事務局合わせて24名が参加した。今回の特別講演会では、テレビ・ラジオのパソナリテイヤー、RABラジオから生まれたトリオ・ザ・ポンチョスのメンバーとしても活躍中の「うっちゃん」こと(株)アル・エー・ピーサービス内山千早次長を講師に招き、「B1グランプリのはなし」をテーマに講演を行った。

B1グランプリの発祥は八戸市で、内山氏も立ち上げから尽力。八戸せんべい汁研

究所が企画プロデュースし、第1回は八食センターで開催。10団体が出展し、2日間で1万7千人を集めた。そのイベントが回を重ねることに規模が大きくなり、昨年、愛知県豊川市で開催された第8回B1グランプリでは64団体が出展、2日間で60万人近い集客を誇る巨大イベントに成長。今や開催地の経済効果は70億円以上と言われ、グランプリ上位入賞B級グルメの地元への経済波及効果はそれをも大きく上回る。

内山氏は「勘違いされがちだが、B1グランプリは飲食店の為のグルメイベントではなく、まちおこしイベントであり、B級グルメはその手段に過ぎない。ご当地B級グルメを通して地域の知名度を

平成25年度
決算実務のポイント
第3回税務研修会

講師に青森税務署の徳光審理専門官を招き、第3回税務研修会が3月18日(火)、問屋町会館で開かれた。平成25年度の決算では、平成26年4月からの消費税率引き上げに伴う注意すべきポイントが多数あり、参加者は熱心にメモを取っていた。

消費税についての主なポイントは次のとおり。
① 月毎に役務提供が完了する保守サービスの適用税率

例えば、毎月20日締めとしている1カ月分の計算期間が1つの取引単位であると認められる場合、施行日(平成26

年4月1日)をまたぐ3月21日から4月20日までの期間に対応する保守サービスについては、その役務提供の完了した日である4月20日における税率(8%)が適用される。

② 賃貸借契約に基づく使用料を対価とする資産の譲渡等

平成26年4月分の賃貸料を平成26年3月に受領する場合、施行日以後である平成26年4月分の資産の貸付けの対価として受領するものなので、4月末日における税率(8%)が適用される。

③ 所有権移転外ファイナンス・リース取引における分割除

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、リース資産の譲渡として取り扱われるので、消費税率は当

該リース資産の譲渡があった時の税率が適用される。このため、平成26年3月31日までに引渡しを受けたリース資産に係る分割除除については、旧税率(5%)が適用される。

④ 部分完成基準による資産の譲渡等

建設工事等の全部が完成しないときにおいても、その課税期間において引渡しした建設工事等の量又は完成した部分に対応する工事代金に係る資産の譲渡等の時期については、その引渡しを行った日となる。このため、平成26年3月31日までの建設工事等の部分引渡しについては、旧税率(5%)が適用される。

研修ではその他、決算・申告の実務における注意するポイントについて次の事項を挙げた。

① 売上上の計上漏れや翌期の売上の誤計上のチェック。
② 飲食等に要する費用(法人の役員、使用人またはこれらの親族の接待等)のための飲食費は除く)のうち1人当たり5千円以下のものは、交際費等の損金不算入額を計算する場合の交際費等の額から除かれる。

③ 青色申告法人である中小企業者等は平成28年3月31日までの間に取得かつ事業供用した少額減価償却資産(取得価額が10万円以上かつ30万円未満の減価償却資産)で他の特別償却などの規程の適用を受け入れるもの(以外)は取得価額の全額を損金算入することができる。

第3回親睦交流会

時代へのニーズに応える カネリ
OA 機器・事務機器・文房具等
ビジネス関連商品の総合商社
株式会社 カネリ 青森支店
第2問屋町 017 (739) 9001(代)
FAX017 (739) 9011
本社 八戸市 支店 十和田、むつ、弘前
店舗 八戸番町店、下田店

創業1947年 地域医療の発展に貢献する
株式会社 島津製作所 代理店
江渡商事株式会社
本社 〒030-0131 青森市問屋町一丁目11番15号
TEL 017 (738) 4135 FAX 017 (738) 4138
URL http://etoshouji.co.jp

問屋町緑のボランティア隊
新規隊員募集

問屋町緑のボランティア隊では、平成26年度の新規隊員を募集している。

同隊は平成18年に組合員従業員で結成され、団地内全域の街路樹の下枝の刈払いや柵の除草作業、組合管理地への花苗植栽を行うなど、問屋町の景観整備に尽力している。

活動は6月から10月まで月に1回程度、日曜日の午前中に行われる。誰にでもできる簡単な作業ばかりなので、土いじりや植物の好きな方は、ぜひこの機会にご入隊いただきたい。

問屋町緑のボランティア隊に関するお問合せは、卸センター業務部(☎73814711)まで。

業務報告

…主要事項…

- 3月
- 4日▽理事長就任合同祝賀会
- 5日▽全国卸業団地協同組合連合会第2回事務局長会議
- 12日▽県中央会平成25年度下期情報連絡会議
- 14日▽問屋町支店長・所長連絡会第3回親睦交流会
- 17日▽金融審査会
- ▽安協問屋町支部無事故無違反コンクール抽選会
- 20日▽第3回税務研修会
- ▽あおもりコンピュータ・カレッジ運営委員会
- ▽青森市産業振興財団常務委員
- ▽問屋町経営同友会第12回会員交流会
- 24日▽青森市産業振興財団理事會・評議員会
- 26日▽第10回理事會
- 27日▽あおもりコンピュータ・カレッジ理事會

…問屋町
ビジネススクール…

- 6日▽断捨離講座
- 12日▽顧客の心をグッとつかむ営業研修(タロージング編)
- 24日▽新入社員研修(1日目)
- 25日▽新入社員研修(2日目)

新規組合員紹介

- ▽丸井産業(株)
- 本 社 広島県広島市
- 代表者 下瀬 ゆみ子
- 業 務 内 容 建築材料卸業
- 所 在 地 問屋町二丁目11-6
- ▽青果流通機構(株)
- 本 社 青森県青森市
- 代表者 長内 義行
- 業 務 内 容 青果卸売業
- 所 在 地 問屋町二丁目9-23 (南山多田商店内)

組合員代表者変更のお知らせ

- ▽みちのくコカ・コーラボトリング(株)
- 代表取締役 谷村 広和
- ▽JKホールディングス(株)
- 代表取締役 青木 慶一郎

経済雑感

第五十六回

(株)青森経営研究所
代表取締役 北村 真夕美
(青森県男女共同参画推進協議会会長)

前号に引き続き、(株)青森経営研究所代表取締役であり、青森県男女共同参画推進協議会会長でもある北村氏による経済雑感をお送りする。

これまで2回にわたり「人材育成」の観点で、さまざまな体験を通しての気づきを述べ参りました。その中から今回は、「管理職」としてのチェックポイントをまとめてみたいと思います。

「働く人の意欲を育む チェックポイント」
1. ヤリガイのある職場でしようか

①カゲ・ヒナタなく努めている人が報われていますか
誰もが認められ、評価されたいと望んでいます。この現場第一主義が貫かれていますか
現場の日々の変化、ドラマの展開をいつも体感し、若い職員に下積み経験の必要性や価値、人生にもたらされるものを語ってやることは大切です。
③率先垂範が実行されていますか
ヤツテミセル、あの人のように行きたいと思える上司はいつの時代も求められています。



(株)青森経営研究所
代表取締役
北村 真夕美 氏

2. 笑顔のある職場でしようか
①仕事が好きと答える職員が大勢いますか
欠勤者や遅刻者の多発・労災事故やクレームの発生・服

装や言葉づかいの乱れ・外勤者の出先不明・連絡業務の不徹底などは仕事が好きと言えない人々が働く職場現象の1コマと言えます。蛇足ですが、職場や仕事を愛し、好きであることの顕著な現れの1つに、人員募集の際、それぞれの友人、知人、親戚などを誘って応募するということがあります。
②人は育っていますか
職業人間だけではなく、人間力が育っているかをみつけることは大切です。
3. ホスピタリティーのある職場でしようか
①電話応対はピカイチですか
前がわかる・声でお客さまの名前は自然に頭が下がっている。電話機を綺麗にしている。
②接客接遇はピカイチですか
一例は、お客さまを色分け

しない。差別しない親切親身の姿勢。お客さまのお顔、お名前を覚えている。長時間の打ち合わせやお待たせする時の配慮、暑い日寒い日、雨や雪の日の配慮がある。
③清掃にはハートが込められていますか
職場の内外、商品、什器、機械、器具、車両等を大切に使い感謝し、一日の良き業績を念じて、皆で行なう清掃はないと思います。トイレの清潔度、ガラス類や鏡類のピカピカ度は何より人さまの印象に残ります。飾られていない鉢植や花なども常に生き生きしていること以上、紙面の都合上説明が十分ではございませんが、少しでもご参考となる点がありますれば幸いです。拙い文をお読みいただき、ありがとうございます。(完)

株式会社 サユーフードサービス

イベント 催事飲食コーナー そばコーナー お弁当

レストラン はまなす

〒030-0131 青森市問屋町1-10-10
TEL: 738-8855 FAX: 738-8856
URL: http://www.sunyu-food.com

明日を創り 明日をひらく

教育・福祉施設・OAシステムトータルプランニング

教育設備品・理化学機器・視聴覚機器・保育用品
介護福祉機器・文具事務機器・OA機器

OEE 株式会社 大平教材社

〒030-0113 青森市第二問屋町三丁目5番33号
TEL 017(762)3111(代) FAX 017(762)3130
E-mail: oodaira@infoamori.ne.jp
http://www.infoamori.ne.jp/oodaira/

増税でも初乗り620円

一番タクシー

～全車クレジットカード決済可能～

配車専用 ☎017-739-5500

情報通信設計施工

コクサイ通信特機

青森市第二問屋町三丁目7-21
TEL (739)8311(代) FAX (739)8312

問屋町ビジネススクール
平成26年度上期開催講座

開校から4年目を迎える問屋町ビジネススクールでは、平成26年度上期開催講座を公開した。

人気講座である吉見講師の「顧客の心をギュッとつかむ営業研修」は、内容を更にブラッシュアップし、今年度も引き続き開催。毎回、多くの受講生を集める会計経理の初級講座も昨年同様、「導入編」「仕訳編」「試算表編」と内容を細分化して開催する。また、営業マン向けに、営業の業務に関わりのある会計的な発想や必要最低限の知識を解説する「営業に必要な会計の基礎

組合員訪問

今回は、4月に青森営業所を団地内に新たに開設し、組合員になった丸井産業株式会社青森営業所の井田所長にお話を伺った。

同社は建築・設備パーツの総合メーカーとして昭和33年に広島市に設立し、現在日本全国に約70の営業所を構え、従業員数は約七百名の大企業である。同社は「創業の原点は新製品に在り」「お客様に喜んでお使い頂ける製品づくり」をモットーに、建設業界の合理化と省力化に貢献することを企業理念とし、日々邁進している。「当社は製造から販売まで一

の基礎」講座が新たにラインナップに加わった。

さらに、会計経理講座の受講者から開催の要望が寄せられていた「商業簿記3級取得講座」も初開催する。同講座は、9月から11月までの3ヵ月間、計11回開かれ、11月16



問屋町ビジネススクール①

日に行われる日本商工会議所簿記検定試験3級合格を目指す。また今年度は、自己啓発講座として「ビジネスマナー研修」も新たに開催する。マナー研修は、組合員を対象に行ったアンケートで開催を望む声が多く、「挨拶、名刺交換編」「言葉づかい、電話応対編」「ビジネス文書、来客・訪問対応編」の3講座に分けて開催。ビジネスシーンで求められる機会が多いケースを中心に、実践的に学べる内容となっている。

そのほか、従来の中堅社員研修、営業スキル研修、総務管理講座に加え、現場の責任者やミドルマネージャー等を

対象にした講座も新たに開催するなど、豊富なカリキュラムを取り揃える。講座詳細やお申込みは、問屋町ビジネススクールのホームページから。
<http://business-school.tonyamachi.com/>



問屋町ビジネススクール②

貫して手掛けています。卸売りをすることもありますが、お客様は、建築会社や電気・設備工事会社等、実際に商品を使用する業者さんが多いです」と説明する。同社の強みについて何うと、「地域最大の在庫数」です。



丸井産業(株) 青森営業所 所長 井田 剛司 氏

当社はお客様都合を第一に考え、お客様から「大至急この商品が必要なんだ!」という要望があった場合、すぐ対応できるように営業所の倉庫に在庫を保有しています。ただ、何でも在庫に持っているわけではなく、必要なものと不要なものを見極めているので、過剰在庫はありません」と

頼もしい。主力商品について尋ねると、「イオンサートという、鉄骨造の建築物等に埋め込みボルトが外れないようにするための留め具です。天井からボルトを吊り下げたりする時などに使われます。30種類程あり、色・サイズを含むとバリエーションは百を超えます。また、天井吊りインサート工法という工法は当社が開発し、今では業界中に普及しています」と誇らしげに

これからの青森営業所の目標は、「青森に丸井を浸透させるべく、新規得意先を獲得することです。郡山市出身の井田所長に問屋町の印象を伺うと、「出社した町、大雪で会社の駐車場に入れなかつたのがあったんですね。一人スコップでひたすら雪かきをしていたら、見かねて近所の組合員さんがショベル機で駐車場を丁寧に除雪してくださいました。問屋町の方の温かさを感じた一件でした」と心温まるお話を聞いた。

(30歳)

編集後記

問屋町内での交通死亡事故故ゼロが平成九年十月二十八日から通算して六千日となりました。十六年と156日の記録で青森市内では二位だそうです。

▼一位は一万三千五百日という凄まじい記録の桜川団地。他の地区は三千日から千日位が一般的だそうです。桜川団地には約二十年の差を付けられています。まずは次の七千日を目指したいものです▼転話題。四月十一日に日本株式が十四%という世界最低の下落率を見せアベノミクスの先行きデフレ脱却に不安が高まっています▼こういう時には悲観論より楽観論ということ

で楽観論の代表的エコノミスト・武者棧司氏の見解です▼武者氏は日本経済には順調な回復の数々の兆しがあると述べています▼①「賃上げが順調である」十六年振りの7千円台、24%の高水準の賃上げが進行している▼②「消費税増税の価格転嫁が進む」四月一日以降一八日間平均で税抜きでも0.4%の上昇がある▼③「円高予想が一掃された」日銀の紙幣発行が世界最速であり、貿易収支が赤字であるなど

▼④「需給ギャップが急速に縮小」内閣府によるとリーマン・ショック直後の最悪時に81%だった需給ギャップが、直近では16%まで縮小している▼以上のようなファンダメンタルズの変化を、長くデフレマインドに浸りきっていた多くの日本人のエコノミストや投資家そしてマスコミが、軽視しているのではないかと感じます。(藤本)

RAB開発株式会社

建築設計・監理/環境整備計画コンサルタント
情報設備・通信システムの企画、設計、施工

青森市第二問屋町3丁目2番35号
TEL 017-739-1666 FAX017-739-1664

<http://www.rabkaihatu.co.jp>

- 【業務内容】 ●オフセット印刷 (ポスター・チラシ・パンフレット・リーフレット・記念誌 他)
- 企画・デザイン ●フォーム印刷 (OCR・帳票・メールシラー)
- PDF・CD-ROM製作



第一印刷株式会社

青森市石江字江渡3-1 〒038-0003
tel 017-782-2333 (代) fax 017-781-9153
e-mail : diikg-1@abeam.ocn.ne.jp